第4期策定時 健康ながはま21アンケート調査項目 (H30年度実施)										第5期策定用 健康ながはま21アンケート調査項目素案 (R4年度実施用)						変更理由	
Ⅲ 心と休養についておたずねします																	削除
問 5		平均睡眠時間を教えてください。(1つに〇) 1.3時間未満 2.3時間以上6時間未満 3.6時間以上8時間未満 4.8時間以上 6									【 散開柳除】 平均睡眠時間を教えてください。 (1つに〇) 1.3時間未満 2.3時間以上6時間未満 3.6時間以上8時間未満 4.8時間以上						
	رب دري	いつもとっている睡眠で休養が十分とれていますか。(1つに〇)								いつもとっている睡眠で休養が十分とれていますか。(1つに〇)							【評価指標のため変更な
問 5	57 1. 十分とれている 2. まあまあとれている 3. あまりとれていない 4. まったくとれていない 5. わからない								1. 十分とれている 2. まあまあとれている 3. あまりとれていない 4. まったくとれていない 5. わからない						し】 前回との比較で必要なため		
		: 記のA~Eの項目の時間について、あなたの認識に最も近いものを1~4の中から1つ選んで○を・ てください。(それぞれ1つずつ)									·Eの項目の時間について、あな ·ださい。(それぞれ1つずつ)	たの認識に	最も近いもの	のを1~40	の中から1つ	選んで〇	【評価指標のため変更なし】
	.,	(1,200% (0,40	(401 - 3 - 7	十分取れている	まある 取れている	あまり 取れていな	全くい 取れてい	<i>t</i> 211				十分取れている	まあ 取れている	あまり 取れていない	全く]	前回との比較で必要なため
		A 仕事のための時間		1	2	3	4	a. 0 ·		Α	仕事のための時間	1	2	3	4		
間 5	8	B 家庭生活のための時	間	1	2	3	4			В	家庭生活のための時間	1	2	3	4		
		C 地域活動のための時	間	1	2	3	4			С	地域活動のための時間	1	2	3	4		
		D 学習・趣味・スポー	-ツなどのための時間	1	2	3	4			D	学習・趣味・スポーツなどのための時間	1	2	3	4		
		E 休養のための時間		1	2	3	4		L	Е	休養のための時間	1	2	3	4		
間5	τ ί	生活の中での優先度について、下記のAとBの場合において、1つ選んでください。(現在仕事をされていない方は、あなたのお考えをお答えください)(それぞれ一つに〇) 1. 「仕事」を優先 2. 「家庭生活」を優先 3. 「地域・個人の生活」を優先 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先 5. 「仕事」と「財域・個人の生活」をともに優先 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 8. わからない								【設問削除】 生活の中での優先度について、下記のAとBの場合において、1つ選んでください。(現在仕事をされていない方は、あなたのお考えをお答えください)(それぞれ一つに○) 1. 「仕事」を優先 2. 「家庭生活」を優先 3. 「砂城・個人の生活」をともに優先 4. 「仕事」と「砂域・個人の生活」をともに優先 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先 7. 「仕事」と「砂域・個人の生活」をともに優先 7. 「仕事」と「砂域・個人の生活」をともに優先					仕事をさ	削除 R3.10 人権施策推進課が計 画策定にかかる「男女共同 参画等に関する市民意識調 査」にて、同様の質問があ るため。	
		A あなたの 希望に近いもの	1	2	3 4	5 (5 7	8			8. わからが あなたの		$\overline{}$				
		B あたまこの 現実(現状)に近	いもの 1	2	3 4	5 (7	8			A 希望に近いもの 1 _ あなたの .	2 3		5 6	7	8	
問6		トレスで体調を崩し 1. ある <i>2</i>	たことはありま 2. ない	∮ か。(1 ·	っに()				【設問 ストレ	削除 スで	現実現状に近いるの は 体調を 崩した ことはありますか。			3 0	1 '	<u> </u>	誰しもストレスがあることを全員に、対象者が現状においてストレスが解消できるているかどうかを確認する設問に後半でおきかえる。

			第4期策定時	第5期策定用	
			健康ながはま21アンケート調査項目 (H30年度実施)	健康ながはま21アンケート調査項目素案 (R4年度実施用)	変更理由
問		小問 1	あなたの周囲の人たちとの関係についておうかがいします。あなたの不満や悩みやつらい気持ち、ストレスを感じた時、相談できる人はいますか。 (1つに○) 1. いる → 問61—小問2へ 2. いない → 問62へ	【設問修正】 悩みやストレスを相談する相手はいますか。もしくは場所はありますか。 (1つにO) 1. 相談する相手がいる(場所がある) → 問61-小問2へ 2. 相談したいが誰にも相談できずにいる 3. 相談したいがどこに相談したらいいかわからない 4. 相談する必要はないので誰にも相談しない	【評価指標】 R4年度 第55回滋賀県世 論調査と同様に変面 「1.相談相手がいる」と回 答した人を、前回問の「1. いる」の比較対象とする。
	61	小問 2	前小間で「1. いる」と回答された方におうかがいします。それは誰ですか。(あてはまるものすべてに〇) 1. 同居の親族(家族) 2. 1以外の親族(家族) 3. 友人や同僚 4. 近所の人(自治会の人、民生委員など) 5. ネット上(SNS等)だけのつながりの人 6. 先生や上司 7. かかりつけの医療機関の職員(医師、看護師、薬剤師など) 8. 公的な相談機関(地域包括支援センター、市役所、保健所など)の職員 9. 民間の相談機関(有料のカウンセリングなど)の相談員 10. 同じ悩みを抱える人 11. その他(【設問・選択技修正】 問61-小問1で「1. 相談する相手がいる(場所がある)」と回答された方におたずねします。 悩みやストレスを離に(どこに)相談していますか。(あてはまるものすべてに〇) 1. 家族 2. 1以外の親族(家族) 3. 友人・知人 4. 職場の同僚・学校の先生等 5. 公的機関(市役所・保健所・滋賀県自殺予防電話相談等) 6. 民間・NPO等の相談機関(いのちの電話等) 7. 民生委員 8. 病院、診療所 9. テレビ・ラジオ・新聞等の相談コーナー 10. ネット上(SNS等)だけのつながりの人 11. 同じ悩みを抱える人 12. 上記以外(職場の相談窓口等)	R4年度 第55回滋賀県世 論調査と同様の質問に変 更。回答の選択肢は、前回 アンケートのものを一部追 加。
問		O) 1 2 3 4 5	やストレスを感じた時にどんな方法で悩みを相談したいと思いますか。(あてはまるものすべてに . 直接会って相談する(訪問相談含む) . 電話を利用して相談する . メールを利用して相談する . L I N E や F a c e b o o k など S N S を利用して相談する . T w i t t e r や掲示板などを利用してインターネット上の不特定多数に流す . インターネットを利用して解決法を検索する . その他 (<mark> </mark>	問61 小問1の相談相手がいる以外の回答者の思いを確認するため設問修正。 結果によって、ニーズに応じた相談窓口の周知の強化等行う。
問			1か月で下記のA~Gのそれぞれの問題に関して、悩みや苦労、ストレス、不満を感じることがありか。 (それぞれ1つに〇) 歳歳して かつて 感じた事 はない 今はない 現在ある らったが らったが はない 今はない 日本の日題 (学族関係の不和、子育で、家族の介護・看病等) 1 2 3 日本の日題 (自分の病気の悩み、身体の悩み、心の悩み等) 1 2 3 日本の日題 (日本の主義、唯法因称等) 1 2 3 日本の主義、日本の工法、職場の人間関係、長時間労働等) 1 2 3 日本の主義、日本の工法、職場の人間関係、長時間労働等) 1 2 3 日本の工法、職場の人間関係、長時間労働等) 1 2 3 日本の工法、職場の人間関係等) 1 2 3 日本の工法、教師との人間関係等) 1 2 3 日本の工法、教師との人間関係を対象を可能的関係を対象を可能的関係を可能的関係を可能的関係を可能的関係を可能的関係を可能的関係を可能的関係を可能的関係を可能的関係を可能的関係を可能的、工法、教師との人間関係を可能的、対象を可能的、	【選択肢修正】 この1か月で下記のA~Gのそれぞれの問題に関して、悩みや苦労、ストレス、不満を感じることがありますか。 (それぞれ1つに〇)	「かつてあったが今はない」の選択肢は削除し、ある・ないで回答。

	第4期策定時 健康ながはま21アンケート調査項目 (H30年度実施)	第5期策定用 健康ながはま21アンケート調査項目素案 (R4年度実施用)	変更理由
間対		【設問追加】 あなたはストレスを解消できていますか。(1つにO) 1. いつもできている 2. ときどきできる 3. ほとんどできない 4. できない	ストレスを感じている人が 解消できているか確認する ため追加
間(悩みを抱えた時やストレスを感じた時に、誰かに相談したり、助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。あなたの考えに最も近いものに〇をつけてください。(1つに〇) 1. そう思う 2. どちらかというとそう思う 3. どちらかというとそう思わない 4. そうは思わない 5. わからない	悩みを抱えた時やストレスを感じた時に、誰かに相談したり、助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。(1つに○) 1. そう思う 2. どちらかというとそう思う 3. どちらかというとそう思わない 4. そうは思わない 5. わからない	変更なし
間(下記の症状が2週間以上続くことが「うつ病のサイン」であることを、あなたは知っていますか。(1つに〇) 【うつ病のサイン】・自覚症状:眠れない、憂うつ、気分が重い(沈む)、悲しい、イライラする、集中力がない、好きなこともやりたくない、細かい事が気になる、決断が下せない、悪いことをしたように感じて自分を責める、死にたくなる・周囲が気づく症状:表情が暗い、涙もろい、反応がおそい、落ち着きがない、飲酒量が増える・身体症状:疲労・倦怠感、食欲不振、頭痛、下痢、便秘、性欲減退、喉の渇き、めまい 1. よく知っていた 2. 少しは知っていた 3. 知らなかった	下記の症状が2週間以上続くことが「うつ病のサイン」であることを、あなたは知っていますか。(1つに〇) 【うつ病のサイン】・自覚症状:眠れない、憂うつ、気分が重い(沈む)、悲しい、イライラする、集中力がない、好きなこともやりたくない、細かい事が気になる、決断が下せない、悪いことをしたように感じて自分を責める。死にたくなる・周囲が気づく症状:表情が暗い、涙もろい、反応がおそい、落ち着きがない、飲酒量が増える・身体症状:疲労・倦怠感、食欲不振、頭痛、下痢、便秘、性欲減退、喉の渇き、めまい 1. よく知っていた 2. 少しは知っていた 3. 知らなかった	評価指標前回との比較で必要なため、変更なし
間(あなたは自分自身の「うつ病のサイン」を感じたことはありますか。 (1つに〇) 1. はい 2. いいえ 3. わからない	あなたは自分自身の「うつ病のサイン」を感じたことはありますか。(1つに〇) 1. はい 2. いいえ 3. わからない	変更なし
問(あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、あなたは最初にどうしますか。 (1つに〇) 1. 身近な家族や友人に相談する 2. 精神科に受診する 3. 精神科以外の医療機関に受診する 4. 保健所に相談する 5. 市役所に相談する 6. なにもしない 7. わからない 6. なにもしない	あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、あなたは最初にどうしますか。 (1つに O) 1. 身近な家族や友人に相談する 2. 精神科に受診する 3. 精神科以外の医療機関に受診する 4. 保健所に相談する 5. 市役所に相談する 6. なにもしない 7. わからない	評価指標 前回との比較で必要なた め、変更なし
問(身近な人の「うつ病のサイン」に気づいたとき、あなたは最初にどうしますか。 (1つに〇) 1. 身近な家族や友人に相談する 2. 精神科への受診をすすめる 3. 精神科以外への医療機関への受診をすすめる 4. 保健所への相談をすすめる 5. 市役所への相談をすすめる 6. なにもしない 7. わからない 6. なにもしない	【選択核修正】 身近な人の「うつ病のサイン」に気づいたとき、あなたは最初にどうしますか。 (1つに〇) 1. とりあえず声をかけて話をきく、 2. 紹介できる相談先を知っていれば、話をきく。 3. 第3者(家族、公的機関等)に伝え、直接声はかけない。 4. 特に触れずにそっとしておく	質問は変更なし。選択肢は R4年度 第55回滋賀県世 論調査にあわせて変更。 選択肢3は、第3者の定義 について補足説明を入れ る。

		第4期策定時 健康ながはま21アンケート調査項目 (H30年度実施)	第5期策定用 健康ながはま21アンケート調査項目素案 (R4年度実施用)	変更理由					
		小 問 1	【散問追加】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、わたしたちの生活様式は変化を余儀なくされました。 これらの影響により、ストレスや不安に感じておられることがありますか。(1つに〇) 1. ある 2. ない	コロナの影響を知るため追加。 R4年度 第55回滋賀県世 論調査と同様。					
問	追 2	小 問 2	【設問追加】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	コロナの影響を知るため追加。 R4年度 第55回滋賀県世論調査と同様。					
in the second se	追3		【設問追加】 こころの健康に関連する相談窓口として、知っているものをすべてお答えください。(あてはまるものすべてに〇) 1. 市役所(保健センターや福祉担当課等) 2. 保健所 3. 県精神保健福祉センター 4. 滋賀県子ども・若者相談窓口 5. 市社会福祉協議会 6. 滋賀県自殺予防電話相談 7. こころの電話相談 7. こころの電話 8. 滋賀県こころのサポートしが(LINE相談) 9. こころのほっと相談(対面相談) 1 0. こころんダイヤル(子ども・子育て応援センター) 1 1. 滋賀いのちの電話 1 2. 知らない	相談窓口の認知度を確認するため追加。 R4年度 第55回滋賀県世 論調査と同様。					
Ι	X	自殺予防についておたずねします							
FL	69	身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時、あなたはどう対応しますか。(あてはまるものすべてにO) 1. 相談にのらない、もしくは話題を変える 3. 「死んではいけない」と説得する 4. 「パカなことを考えるな」と叱る 5. 耳を傾けてじっくりと話を聞く 7. 解決策を一緒に考える 9. その他(10. 何もしない 8. 一緒に相談機関を探す)	「選択技修正	回答の選択肢を整理。 1.2.3.4.11は、平成26年1 月 自殺に関する県民意識 調査(滋賀県立精神保健福 祉センター)より抜粋。					

	第4期策定時 健康ながはま21アンケート調査項目 (H30年度実施)	第5期策定用 健康ながはま21アンケート調査項目素案 (R4年度実施用)	変更理由
P	自殺予防対策における「ゲートキーパー※」という言葉を知っていますか。(1つに〇) ※ゲートキーパー: 悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人 1. 知っている 2. 聞いたことはあるがよく知らない 3. 知らない(今回の調査ではじめて聞いた場合を含む)	自殺予防対策における「ゲートキーパー※」という言葉を知っていますか。(1つに〇) ※ゲートキーパー: 悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげ、見守る 人 1. 知っている 2. 聞いたことはあるがよく知らない 3. 知らない(今回の調査ではじめて聞いた場合を含む)	【評価指標のため変更なし】 前回との比較で必要なため
P	これまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。 (あてはまるものすべてに〇)	【設問判除】 これまで自殺対策に関する啓発物を見たことがありますか。(あてはまるものすべてに○) 1. ポスター	啓発自体の認知ではなく、 啓発目的である相談先を しっているかどうかについ て今回は把握するため、当 該設問を削除
P	自殺対策に関する研修会やゲートキーパー養成講座に参加したことがありますか。 (1つに〇) 72 1. はい 2. いいえ	【設商削除】 自殺対策に関する研修会やゲートキーパー養成講座に参加したことがありますか。(1つに〇) 1.はい 2.いいえ	削除 業務において参加者数を把握しているため
P	追 4		正しい知識を確認するため 追加。 R4年度 第55回滋賀県世 論調査と同様の内容。